

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		増減金額	
	前連結会計年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)		
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
1. 非支配持分控除前当期純利益		27,016	16,352	△ 10,664
2. 営業活動によるキャッシュ・フローと 非支配持分控除前当期純利益の調整				
(1) 減価償却費	22,984		22,617	
(2) 固定資産除売却損(純額)	606		861	
(3) 長期性資産の減損	413		671	
(4) 投資有価証券売却益(純額)	△ 7		△ 307	
(5) 投資有価証券の減損	805		391	
(6) のれんの減損	—		2,009	
(7) 退職給付引当金	△ 4,785		△ 5,669	
(8) 繰延税金	5,374		9,981	
(9) 持分法投資損益	190		△ 631	
(10) 資産・負債の増減				
① 受取手形及び売掛金の増加	△ 16,227		△ 6,838	
② たな卸資産の増加	△ 12,174		△ 6,538	
③ その他の資産の減少(△増加)	1,048		△ 483	
④ 支払手形及び買掛金・未払金の増加	9,301		682	
⑤ 未払税金の増加(△減少)	△ 453		△ 1,562	
⑥ 未払費用及びその他流動負債の増加	8,383		388	
(11) その他(純額)	△ 518	14,940	22	654
営業活動によるキャッシュ・フロー		41,956	31,946	△ 10,010
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
1. 投資有価証券の売却及び償還による収入	109		693	584
2. 投資有価証券の取得	—		△ 911	△ 911
3. 資本的支出	△ 21,647		△ 27,502	△ 5,855
4. 施設借用保証金の減少(△増加)(純額)	276		△ 101	△ 377
5. 有形固定資産の売却による収入	1,066		2,307	1,241
6. 関連会社に対する投資及び貸付金の減少(△増加)	20		△ 480	△ 500
7. 事業の買収(現金取得額との純額)	—		△ 1,012	△ 1,012
8. 事業の売却(現金流出額との純額)	△ 34		—	34
9. その他(純額)	—		520	520
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 20,210	△ 26,486	△ 6,276
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
1. 短期債務の増加(△減少)(純額)	29,052		△ 26,744	△ 55,796
2. 長期債務の返済	△ 20,000		—	20,000
3. 親会社の支払配当金	△ 5,285		△ 6,604	△ 1,319
4. 非支配持分への支払配当金	△ 0		△ 15	△ 15
5. 自己株式の取得	△ 140		△ 10	130
6. 自己株式の売却	3		2	△ 1
7. その他(純額)	△ 297		△ 121	176
財務活動によるキャッシュ・フロー		3,333	△ 33,492	△ 36,825
<b>IV 換算レート変動の影響</b>		△ 2,070	△ 1,446	624
現金及び現金同等物の増減額	23,009		△ 29,478	△ 52,487
期首現金及び現金同等物残高	51,726		74,735	23,009
期末現金及び現金同等物残高	74,735		45,257	△ 29,478
営業活動によるキャッシュ・フローの追記				
1. 支払利息の支払額	482		269	△ 213
2. 当期税金の支払額	9,636		9,409	△ 227
キャッシュ・フローを伴わない投資及び財務活動の追記 資本的支出に関連する債務	1,843		2,682	839

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

最近の有価証券報告書（平成23年6月22日提出）における記載から重要な変更がないため開示を省略します。

(7) 連結財務諸表に関する注記事項

1. 1株当たり情報

当社は1株当たり利益の算出にあたり、FASB会計基準書第260号「1株当たり利益」を適用しています。1株当たり当社株主に帰属する当期純利益および希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益の算出に用いた株式数は次のとおりです。

株式数（単位：株）	23年3月期	24年3月期
基本的	220,131,599	220,093,275
希薄化後	220,131,599	220,093,275

ストックオプションに対する希薄化効果を考慮しておりますが、23年3月期および24年3月期において希薄化効果はありません。

2. その他費用－純額－の主な内訳

その他費用－純額－の主な内訳は次のとおりです。

23年3月期

品質対応費	2,874 百万円
為替差損（純額）	2,102
投資有価証券の減損	805
支払利息	481

24年3月期

のれんの減損	2,009 百万円
為替差損（純額）	1,195
固定資産除売却損（純額）	861
長期性資産の減損	671
投資有価証券の減損	391
支払利息	269

3. 重要な後発事象

該当事項はありません。

なお、リース取引、関連当事者との取引、税効果会計、金融商品、有価証券、デリバティブ取引、退職給付、ストックオプション等、企業結合等、資産除去債務に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略します。